

水道だより

私たちの暮らしの中の水道 vol.14

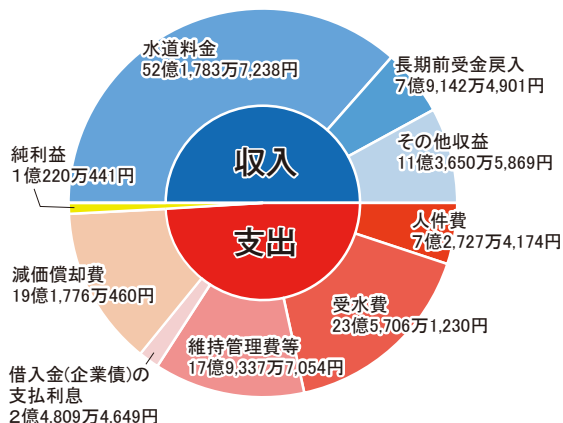
令和3年12月1日発行
上下水道管理課

☎237-5811 FAX 237-5819

身近にある水道について知っていただくために、水道事業の現状・課題・経営状況をシリーズでお伝えしています。今回は水道事業会計の令和2年度の決算状況と水道料金の改定について見ていきます。

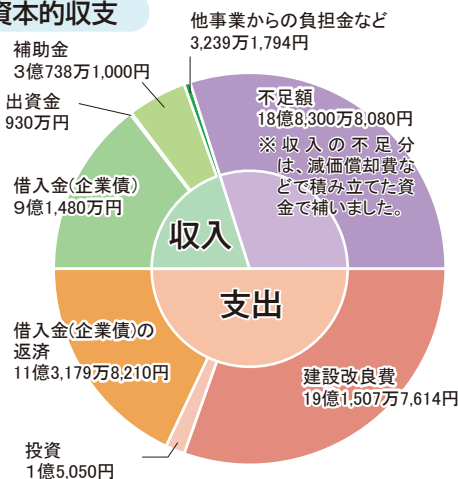
令和2年度決算をみましょう！

収益的収支



収益的収入 71億4,576万8,008円
 収益的支出 70億4,356万7,567円
 純利益 1億220万441円
※税抜き

資本的収支



資本的収入 12億6,387万2,794円
 資本的支出 31億4,688万874円
 収支差引 △18億8,300万8,080円
※税抜き、△はマイナスを表す

業務量の概要

(令和3年3月31日時点)

給水人口

27万3,605人

給水戸数

13万5,544戸

年間総配水量

4,041万4,780㎡

1日平均配水量

11万725㎡

1日最大配水量

11万9,927㎡

- 収益的収支…その年度の水道水の供給に必要な費用と収益(主に水道料金)
- 資本的収支…水道を将来にわたって継続するために必要な施設の整備や拡充などに係る支出と、それを行うための財源となる収入(補助金や借入金)



令和2年度決算が出たね。貯金はどうなったの？



下図のとおり、不足額を収支を伴わない補填額などで補っても、足りない分(5.6億円)は貯金を崩して支払ったんだ。



貯金は減ったけど、まだ44.2億円もあるんだね。



この貯金は大規模災害発生時などでも、水道事業を継続していくために必要なお金なんだ。津市では50億円は必要だから、今の状況で安心できないんだ。

貯金の動き

これまでの貯金	令和2年度の不足額	収支を伴わない補填額	令和2年度の純利益	貯金残高
49.8億円	-18.8億円	+12.2億円	+1億円	= 44.2億円

令和2年度に減った貯金
5.6億円

経営状況を改善するために



健全経営に向けて上下水道事業経営審議会を開いて、公募で選ばれた市民を含めた委員から経営に対する意見を頂いたよ。



審議会ではどんな意見があったの？



料金改定に慎重な意見もあったけど、古くなってきた水道管の更新の手を緩めることができない現状を考慮すると「水道料金の増額は避けられない状況

で、やむを得ない」という意見が多かったよ。



やっぱり水道事業は厳しい経営状況なんだね。



安全・安心な水道水を将来にわたって安定的に供給するために料金改定を行うことにしたよ。詳しくは裏面をみよう。

上下水道事業経営審議会については津市ホームページから

